



平成二十八年八月二十三日

皇紀2676年
(西暦2016年)
第130号

発行：淀姫神社社務所
〒859-4501
松浦市志佐町浦免632
TEL・FAX 0956-72-0653

雨が降りませんね

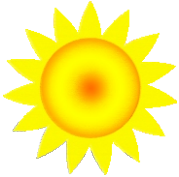
一ヶ月以上雨が降ってません

これを書いているのは八月二十三日です。

締め切りをとうに過ぎてます。ごめんなさい。さて、7月18日に九州北部地方の梅雨明けが発表されて以来、ここ松浦市では、ほぼ雨が降っていません。お隣の佐世保市や佐賀県伊万里市などでは、まとまった雨が降ったりしています。しかし、気象庁が設置している松浦市のアメダス観測記録上、すでに40日近く降水量は「0」を記録し続けています。

しかも、気温も高温傾向にあり、連日の夏日はもとより、熱帯夜も多くなっています。こちらの方でも、非常に体力が奪われる天候となっています。この号が皆様のお手元に届く頃には、お天気がどういう状況になっているかはわかりませんが、少しでも雨が降り、涼しくなっていることを願いたいものです。

また、全国に目を向けると、東日本では大雨に見舞われたり、北海道では台風が3個も直撃するな



どの影響で、かなりの被害が出ているようです。西日本と東日本でここまで極端に天候の差が出る今年の夏。皆様どうぞご無事に乗り切ってくださいませよう。

季節の言葉あれこれ

毎度おなじみ「季節の言葉あれこれ」と題して、この時期にちなんだ言葉をご紹介します。コーナーです。

暦の上では秋を迎えておりますが、どうやらまだまだ暑い日が続くそう予想です。なので、せめて秋の涼しさを感じられる言葉だと思います、こんな言葉を。

【草露白】（くさつゆしろし）

二十四節気の「白露」の初候で、「白露」を迎えた日が、この候の初日に当たります。ちなみに、今年は9月7日となります。

意味は、「草に降りた露が白く光って見える」

朝晩の気温が低くなり始めると、空気中の水蒸気が草の葉などにたまります。そうしてできた露が、朝の太陽の光にきらきらと光って見えます。

この現象が見られる頃になると、朝の空気はひんやりと感じます。

なぜこのような現象が起きるかについての説明を。

空気中には結構な量の水蒸気が含まれています。この割合を示したものがいわゆる「湿度」です。

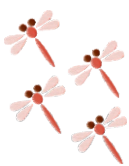
空気中の水蒸気の量は、温度によってその上限が変わります。

空気が暖まれば、水蒸気の量は上限値が高くなり、空気が冷たくなると、その上限値も低くなります。

湿度の高い日に、冷たいジュースなどの飲料容器に露がつくのは、この現象が働くためです。その冷えた容器の周囲の空気が冷たくなり、その部分に含まれていた水蒸気が表面にくっついて水滴となるからです。

冬場であれば、暖房が効いている室内の空気が暖かいので、窓が結露したり、寒い場所から暖かいところに移動すると眼鏡が曇ったりします。これも同じ現象だったりします。

今年のこの厳しい暑さはまだまだ当分続きそうです。いつまで続くかはわかりませんが、早く涼しくなってほしいと願う今日この頃です。



淀姫神社インターネット公式サイト「淀姫神社WEB」 <http://yodohimejinja.com/>

各種最新情報・blog「淀姫日記」にて「お祭りレポート」などなど、内容盛りだくさんでお送りしています。ぜひともチェックしてくださいませ。